

花の苑タイムズ

平成29年10月10日発行
第37号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

敬老の日を盛大に祝賀 高崎チンドン倶楽部が来苑



高崎花の苑では今年も敬老の日を高崎チンドン倶楽部の皆さんをお迎えして、盛大に慶祝行事を行いました。

当日、すっかりお馴染みとなった杉浦座長をはじめとする高崎チンドン倶楽部の皆さんが独特な装いで音楽演奏とともに登場すると、待ってましたとばかりにご利用者の拍手が巻き起こり、顔をくしゃくしゃにして喜びを表す方もおられるなど満面の笑顔が館内に広がりました。

昭和の遺産チンドン
このあと、数々の懐かしい昭和の歌謡メドレーに載せて高崎チンドン倶楽部のパフォーマンスが続けられ、加えて米寿を迎えられた方との記念撮影や誕生祝いのほか、リクエストによる演奏など

秋号特集

がりました。

なお、敬老の日を祝う行事は、この日の慶祝行事の他各ユニットでそれぞれ行われました。(詳細は三面、四面のユニットたよりに掲載)

訪問記「コスモス祭り」
上毛三山など群馬の山並みを背景に、赤やピンクの四十万本のコスモスが咲き誇る「コスモス祭

り」が十月十五日で幕を閉じました。

展望花の丘は市内西部に位置する景勝地に、春は「菜の花祭り」が開催されるなど、高崎市の観光名所として人気スポットの一つに数えられています。

高崎花の苑では、コスモスがピークを迎えた十月九日の日曜日に四名のご利用者が訪れ、菜の花を中心に百日草やマリゴールドなど秋の花々を堪能してきました。



地域掲示板

- 第三十三回新高尾地区文化祭(しんたかお祭り) 芸能発表の部
○開催日時 十一月三日(金) 午前十時～午後一時三十分
○会場 新高尾小学校体育館
- 中川長寿センター祭り 芸能発表会
○開催日 十月十八日(水)
- 会場 中川長寿センター (市内井野町)

寄稿

「育てるといふこと」

近頃、児童虐待の報道が多い背景には一体何があるのか。これは、現代社会の大人たちが、育てることを教えることの次に次にしてしまつたと言ふ方が当を得ているかも知れない。その点では人間以上に動物たちが好ましい「育と教」の仕事をしている。卵生動物にして、胎生動物にして親が子に生きていく智慧を授け始めるのは、しっかり育て上げてからである。そして、その育てる過程は、まさに体をかり命をかけての子育ての戦いそのものであるといえる。

体張り

命かけての子育て
ところで、子育て、教育の「育」という文字は、どのような意味が含まれているのか考えてみたい。「育」は子の逆の文字と月(肉)との合成された文字である。逆の「子」は何を意味してい

るのだろうか。不完全な人間・大人の目から見たらすべてに満足できない子供、と解したらどうだろうか。そして、「月」であるが、これは肉を意味している。逆の子と月を組み合わせて意味を考えたらどうなるだろうか。大人の目から見たら、手に負えないようなやつかい者(子ども)それでも、肉をしっかりと与えて育てる。だから育つ。まさに子育ての神髄ではないだろうか。

動物に親る

動物の子育ては、まさにこの真髄そのものと言える。厳しい自然の戒律に従って生きなければならぬ動物なのだから、やむを得ないといえども、それであるが、もっとも高等であることを自負する人間が、育てることを忘れてしまったと思われれる昨今である。

子どもを育てるといふ営みの中には、実は、無形のすばらしい教育が含まれているということ再認識すると共に、体を

雑感手帖

加藤和昭

八月で四十歳になりました。四十歳になるといわゆる「人生の転機」であり、自分のことが理解できる年齢。孔子に言わせれば「四十にして惑わず」自分のことが理解できれば惑うことは無いと言いたいのか。そうでもない。日常においては今でも戸惑うことが多い。でも、三十歳の時では比較にならないほど、知ったことがある。

- ①自分自身の得意なところと不得意なところ
- ②家族と周囲への感謝
- ③自信も過ぎれば慢心となり、謙虚も過ぎれば卑屈になるということ
- ④他人を認めること

「九月交流イベント」

九月度はカラオケ教室(秋桜カラオケ教室)の他、舞踊(アジサイクラブ)、サルビア音楽教室などが行われました。このうち、カラオケ教室ではご利用者の代表がマイクを握り自慢の喉を披露しました。



グループ情報

「日高病院」

赤い花 暑さ寒さを何と言うやら (秀峰)

●十一月二日(日) 十一時～十七時 イオンモール高崎専門店街二階イオンホール
「健康測定と糖尿病無料相談会」
主催：日高病院糖尿病サポーターチーム
●十一月十日(金) 十四時～十五時三十分 日高病院六階会議室
【講演】
「冬に気を付けたいこと」インフルエンザ・低温やけど」
講師：伴野祥一先生
「最新のくすりの話」インスリンの話」
講師：薬剤師
※申し込み：日高病院・糖尿病センター又は栄養課 電話(三六二)六二〇一

季節折々の歌

(三号館Gユニット 須永 清様)

- 西の空 日暮まじかな 茜雲 夕餉の煙
- 村祭り 森林杜
- 笛太鼓 五年振かな 故郷の水
- 彼岸明け 大川堤

イベントスナップ (九月度)



「ユニットだより」

「歌で祝賀」

九月十八日の敬老の日を祝賀して、三号館のHユニット・Iユニットでは、合同の祝賀会を行いました。

はじめに皆さん馴染みの歌謡曲などを全員で唄いスタート。元々歌の好きな方がおられる三号館では、歌い出しからスインチが入るのが早く、終始元気に明るい歌声を響かせておられました。

このあと、ご利用者お一人お一人に職員から真心からのプレゼントをお渡しすると、皆さん早々に袋を開けられ、満面に笑顔を浮かべながら「有難う！」などと、皆様か



ら感謝の言葉を頂きました。そしてこの日のおやつには、冷たいアイスクリームを提供させて頂きました。特別なものではありませんが、元気に歌いあげた後だけに、このほか美味しく召し上がっていただけたようです。

三号館利用者様にとっては今回、花の苑で迎える初めての敬老の日となりました。どうかこれからも健康長寿で、そしてたくさんのお歌を元気に歌いながら、楽しく日々暮らせますよう、職員一同祈念しています。

(H・Iユニット・I)

「ケーキでお茶会」

九月十七日、Aユニット及びショートステイでは敬老の日を祝いお茶会を行いました。この日は午前中、高崎チンドン倶楽部が来苑し、賑やかな楽しいパフォーマンスを披露して敬老の日を祝賀しました。

ご利用者の多くの方が昭和の風物詩ともいえる懐かしいチンドン屋さん



に感激され、その興奮も冷め止まぬ中で午後のお茶会が催されました。

今回、ご用意したのはケーキやお菓子ですが、準備がすこしはかどらずにいると、ご利用者から「まだ？」、「主役を待たせちゃいけないよ？」などとお叱りを受ける始末です。皆さん、ケーキには目がない様子で、ある方は見たこともないスピードで食べておられ、食べ終わっても「もう、ないの？」と勢いが止まりません。お元気なのは何よりですが、少し心配してしまいました。

そんな訳で、これからもお元気で健康長寿を担当職員一同お祈りしています。

(Aユニット・ショートステイ K)

委員会

ダイジェスト

高崎花の苑・サービス向上委員会では九月二十九日、職員のマナー意識と接遇力向上をめざし、講師に日高病院・萩原恵美子職員を迎え、全職員を対象に研修会を行いました。

主な内容は、介護施設職員としての基本姿勢を確認したうえで、良いコミュニケーション（接遇力）は相対する方に安心感を与えるだけでなくスタッフ間の業務を円滑にして、職場環境を改善し、結果的にサービスの向上につながるという、接遇力を磨くポイントを「挨拶」「身だしなみ」「言葉遣い」「動作」の四つの観点から学びました。



園児たちの自画像を展示 敬老の日に合わせて製作 (ぐんま幼稚園)

ぐんま幼稚園(市内金古町)の園児たち六十四名が、敬老の日に合わせて自らの顔を描いた絵を、このほど花の苑施設内に展示させて頂きました。

自由なタッチで、クレヨンなどで描いた絵は、園児たちの無邪気な心を映し出していて、ご利用者や職員、面会に来られるご家族など見る人をほのぼのとさせてくれる魅力があります。

この絵は十月末まで、高崎花の苑の各ユニットの入口などに展示しています。



「ユニットだより」

「おさつバター作り」

Dユニットでは、敬老の日をお祝いし、みんなでおさつバターを作りました。

おさつバターは、さつま芋を使った簡単に作れるものです。当日は大きなさつま芋の皮剥き、潰したりと簡単な作業はご利用者にも手伝わった頂きました。とてもシンプルなものですが、ちゃんと出来るのか・・・ご利用者も職員も少しドキドキしつつ、途中味見などしてみんなで楽しく作りました。(写真)

そして、少し苦戦しながらも、無事に完成し召し上がって頂く事が出来ました。「とても美味し



い」「甘いよ」など、喜んで頂けたようで皆さんの笑顔を見て職員もほっと一安心でした。

その後、職員手づくりの「写真入りフォトフレーム」をプレゼント。こちらも大変喜んでくださり「かわいい！」「ダンナに見せるよ」などと言う方もいらつしやいました。

Dユニットのご利用者は全員女性でいつもとても賑やかです。そんな皆さんから職員も元気をもらっていますので、これからも一緒に毎日を明るく元気に過ごせたらと思います！

「賑やかにお茶会」

E・Fユニットの合同敬老会では、サブライズとして職員が利用者お一人お一人に今何が必要かを考え、心づくしのプレゼントをさせて頂きました。

このうち、Eユニットの坂本様は以前より「親指が分かれた靴下」が欲しいと話されていて、職



員からの気持ちです！とお渡しすると「いやー、本当にうれしい！ありがとねえ、欲しかったのよ」とねえ、欲しかったのよ

。大事に履かせてもらうねえ」と大変喜んでくださいました。(写真) またこの後開いたお茶会では、喜びのあまり御自慢の歌を披露されたご利用者もおられ、終始楽しく賑やかな敬老会となりました。

「米寿を慶祝」

Bユニットの井草芳子様は今年米寿を迎えられました。米寿は年祝いの一つで「米」という漢字を分解すると八十八となることから八十八歳を祝うものことです。

井草様は埼玉県秩父市でお生まれになり、後に親族がいる高崎市に移ら



れ、養鶏場を営む家庭で育ちました。

高校を卒業された後、洋裁を学ばれ、結婚後は三人の子供さんを育てられました。趣味は買い物などで、地味でありながらも家族思いで、主婦としての生活を全うされたようです。なかでもお料理の栄養バランスに詳しく、家族の健康に気を配り食事を調理されていたとの事です。

そんな井草様に、米寿のお祝いの言葉を掛けると「若い時からあっちこちと病氣もしてきただけ、長生きできてよかったです」と語っていました。これからも健康で、まずは百歳まで長生きしてください！

(B・Cユニット S)

すこやか生活日記

今年も食欲の秋がやってきました。秋の味覚の王様といえば松茸でしょう。松茸は香りを楽しむ食べ物でもありますが、今回は食品の香気成分についてのお話です。

食べ物への食欲を刺激するだけでなく、生理機能を持つものもあり、例えば、わさび、からしなどの香辛料には抗酸化作用、抗菌作用があり食材の保存目的で使われてきました。

また、ジャスミンは自律神経の活動に関与し、気分を落ち着かせる作用があると言われています。そのほか、みょうがには食欲増進、消化促進、血行促進など様々な作用があり夏バテに効果的。今の時期は秋みょうがと言われ、実が大きく色鮮やかなのが特徴です。

皆さんの食欲が湧くのはどんな香りでしょうか。(管理栄養士)



編集後記

★Gユニットも開設から早一か月。入居者様が日々快適に、楽しく過ごせるよう支援していきます。

(T)★敬老の日を祝って開いたお茶会での一言では、普段見られない利用者様のお姿に接することができたです。

(K)★とある回転寿司店の食べ放題に行き、換算すると一皿三十三円という得(?)をした秋の一日を過ごしてきました。

(N)★季節も秋が深まりこのところ寒暖の差が大きくなってきました。体調管理に注意しましょう。(S)★展望花の丘のコスモスを見に行ったり利用者様が大変喜ばれており、また撮ってきた写真がともきれいだっただけで来年は自分も行ってみたいと思いましたが(S)★今月の特集秋号(第37号)は期せずして敬老の日の祝賀紙面で埋まっただけで、皆様から日々穏やかに健康長寿で祈るばかりです(N)